

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公表番号】特表2018-522757(P2018-522757A)

【公表日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2018-031

【出願番号】特願2017-560562(P2017-560562)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/32 E

B 3 2 B 27/40

B 6 5 D 65/40 D

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年9月29日(2020.9.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) フィルムであって、

(i) 0.930 g / cm³ 未満の密度及び126 未満のピーク融点を有する、70 ~ 100 重量パーセントの直鎖状低密度ポリエチレンを含む第1の層、

(ii) 0.905 ~ 0.970 g / cm³ の密度及び100 ~ 135 の範囲でピーク融点を有する、60 ~ 100 重量パーセントのポリエチレンを含む第2の層、ならびに

(iii) 0.930 ~ 0.970 g / cm³ の密度及び120 ~ 135 の範囲でピーク融点を有する、40 ~ 100 重量パーセントの高密度ポリエチレンを含む、前記第1の層と前記第2の層との間の少なくとも1つの中間層を備える、フィルムと、

(b) 前記フィルムの前記第2の層の外部表面上に位置し、ポリウレタンを含むコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

【請求項2】

前記コーティングされたフィルムが、ASTM F1921-98のシーリング条件下で、80 ~ 180 の温度範囲にわたって耐熱性であり、前記温度範囲の低温側の温度は、コーティングされたフィルムがASTM F1921-98に従って測定されたときに少なくとも11bf/inのヒートシール強度を示す温度であり、前記温度範囲の上限温度は、コーティングされたフィルムが、コーティングされたフィルムにおける変形により、ASTM F1921-98に従って、ヒートシール強度を測定することができないような溶落ちを示す温度である、請求項1に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項3】

前記コーティングされたフィルムが、前記コーティングされた表面上で、60 °で少なくとも70 ユニットの光沢を有する、請求項2に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項4】

前記フィルムの前記第1の層の前記外部表面上のコーティング量が、1 ~ 7 g / m² で

ある、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 5】

前記コーティングされたフィルムは、前記コーティングされた表面上で、A S T M 1 8
9 4 に従ってフィルム - 金属間に測定されたとき 0 . 1 5 ~ 1 . 0 の動摩擦係数を有する
、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 6】

前記ポリウレタンが、(a) ヒドロキシル末端ポリオールまたはウレタン、及び(b) イソシアネート官能性プレポリマーから形成される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 7】

前記ヒドロキシル末端ウレタンが、ヒドロキシル末端ポリエーテル系ウレタン、ヒドロキシル末端ポリエステル系ウレタン、及びヒドロキシル末端ポリエステル - ポリエーテル系ウレタンのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 6 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 8】

前記フィルムが、0 . 9 2 g / cm³ 以下の密度及び 1 2 0 ~ 1 3 5 の範囲でピーク融点を有する、5 0 ~ 1 0 0 重量パーセントのポリエチレンを含む、前記第 1 の層と前記第 2 の層との間の 1 つ以上の低密度中間層を備え、かつ / または前記フィルムが、バリア層をさらに備える、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルムを備える、物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 2】

本発明のコーティングされたフィルムの種々の実施形態は、例えば、広範な耐熱性範囲、コーティングされた表面上の高光沢、コーティングされた表面上の安定した摩擦係数、及び / または他の特性を含む 1 つ以上の望ましい特性を有することができる。いくつかの実施形態において、本発明のコーティングされたフィルムは、幅広い耐熱性範囲を有する。本発明のいくつかの実施形態によるコーティングされたフィルムは、8 0 ~ 2 0 0 の温度範囲にわたって耐熱性である。本明細書において使用する場合、耐熱性の範囲のより低い温度は、コーティングされたフィルムが A S T M 1 9 2 1 - 9 8 に従って測定されたときに少なくとも 1 1 b_f / in のヒートシール強度を示す温度である。本明細書において使用する場合、耐熱性の範囲の上限温度は、コーティングされたフィルムが、コーティングされたフィルムにおける変形により、A S T M 1 9 2 1 - 9 8 に従って、ヒートシール強度を測定することができないような溶落ちを示す温度である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 9】

【表10】

試料	最大耐熱性 (対面曝露)
試料E	420°F
試料F	410°F
試料G	260°F
試料H	420°F

本発明は次の実施態様を含む。

[請求項1]

(a) フィルムであつて、

(i) 0.930 g/cm³未満の密度及び126未満のピーク融点を有する、70~100重量パーセントの直鎖状低密度ポリエチレンを含む第1の層、

(ii) 0.905~0.970 g/cm³の密度及び100~135の範囲でピーク融点を有する、60~100重量パーセントのポリエチレンを含む第2の層、ならびに

(iii) 0.930~0.970 g/cm³の密度及び120~135の範囲でピーク融点を有する、40~100重量パーセントの高密度ポリエチレンを含む、前記第1の層と前記第2の層との間の少なくとも1つの中間層を備える、フィルムと、

(b) ポリウレタンを含む前記フィルムの前記第2の層の外部表面上のコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

[請求項2]

前記コーティングされたフィルムが、ASTM F1921-98のシーリング条件下で、80~180の温度範囲にわたって耐熱性である、請求項1に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項3]

前記コーティングされたフィルムが、60°で少なくとも70ユニットの光沢を有する、請求項2に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項4]

前記フィルムが、インフレーションフィルムである、請求項1~3のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項5]

前記フィルムの前記第1の層の前記外部表面上のコーティング量が、1~7 g/m²である、請求項1~4のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項6]

前記コーティングされたフィルムが、前記コーティングされた表面上で0.15~1.0の摩擦係数を有する、請求項1~5のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項7]

前記ポリウレタンが、(a)ヒドロキシル末端ポリオールまたはウレタン、及び(b)イソシアネート官能性プレポリマーから形成される、請求項1~6のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項8]

前記イソシアネート官能性プレポリマーが、芳香族イソシアネートを含む、請求項7に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項9]

前記ヒドロキシル末端ウレタンが、ヒドロキシル末端ポリエーテル系ウレタン、ヒドロキシル末端ポリエステル系ウレタン、及びヒドロキシル末端ポリエステル - ポリエーテル系ウレタンのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 7 または請求項 8 に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 10]

前記フィルムが、0.92 g / cm³ 以下の密度及び 120 ~ 135 の範囲でピーク融点を有する、50 ~ 100 重量パーセントのポリエチレンを含む、前記第 1 の層と前記第 2 の層との間の 1 つ以上の低密度中間層を備える、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 11]

前記層のうちの 1 つ以上が、50 重量 % 以下、好ましくは 30 重量 % 未満の量で、ポリプロピレン、環状オレフィンコポリマー、またはそれらの混合物をさらに含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 12]

バリア層をさらに備える、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 13]

(a) 0.930 g / cm³ 未満の密度及び 2.0 g / 10 分未満のメルトインデックス (I₂)、ならびに 126 未満のピーク融点を有する、70 ~ 100 重量パーセントのポリエチレンを含む、単層フィルムと、

(b) ポリウレタンを含む前記フィルムの外部表面上のコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

[請求項 14]

請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルムを備える、物品。

[請求項 15]

前記コーティングされたフィルムが、20 ~ 200 マイクロメートルの厚さを有する、請求項 14 に記載の物品。